

社会貢献活動に取り組む個人や団体への支援事業を展開

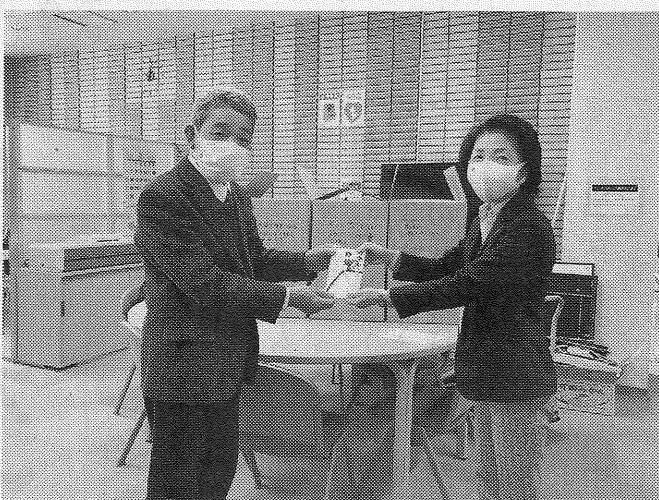
立花産業株式会社は昨年5月から、全国の営業所や出張所の包括地域内で、社会貢献活動に取り組む個人や団体への支援事業を展開している。同社員が地域社会の課題に目を向けるとともに、支援を通じて地域とのつなかりを強め、企業の社会的責任を果たすことが目的だ。昨年、本社に申請された活動は29件。介護や障害者福祉、生活困窮者支援、青少年育成など多岐にわたる活動が受理された。今回の事業について、小林孝利社長に聞いた。

包括地域内で活動する人々とのつながりを強化

すべての人の物心両面の救われに寄与する——そうした庭野日敬開祖の願いのもと、1964年、立正佼成会の事業体として当社が設立されました。現在、保険事業を中心に、仏具や什器などを販売する商事事業、建設や設備管理などを担う施設管理事業を行っています。

また、これまでにもさまざまな社会貢献事業に尽力してきました。91年から公益財團法人庭野平和財団への寄付を始めて、2014年2月には、創立50周年記念事業としてスリランカに「たちばな諸宗教幼稚園」を開設しました。昨年からは、日頃からお世話になつていて「地元に目を向けた取り組みを始めました。

これは、地域に根差して社会課題に取り組むNPOやNGOと社員一人ひとりがつながり、物資の提供による支援を通じて、地域密着型の社会貢献を進



める活動です。昨年申請された29件の中で特に多かったのは、「子ども食堂」への支援でした。

この中で、甲信営業所（山梨・甲府市）は、NPO法人にじじ、「人としての成長を実感しています」と報告してくれたの

は、関東北営業所（宇都宮市）の内田浩史さん（37）です。彼は、栃木県内で重度心身障害者の入

所施設や介護福祉施設を展開す

が、企画には、一人ひとりが地

域社会を知り、活動してい

ています。

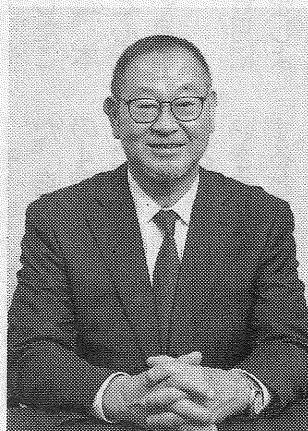
社員それぞれが起案し、本社

の食料提供や生活困窮家庭の子

供たちの学習支援、ホームレス

支援といったさまざまな活動

を、社員を通じてサポートして



所長（56）は、食堂を利用する子供が、「大きくなつたら、お兄さんやお姉さんたちのようにあのTシャツを着て、小さい子のお世話をしたいんだ」と話していました。くれたことが忘れられないと言います。「この支援によって、大人へ人の力になれるような大人に／＼という思いが、子供たちの心に芽吹くきっかけになれたことが何よりの功德です」と報告してくれました。

また、この社会貢献事業を通じ、「人としての成長を実感

しています」と報告してくれたの

は、関東北営業所（宇都宮市）の内田浩史さん（37）です。彼は、

栃木県内で重度心身障害者の入

所施設や介護福祉施設を展開す

が、企画には、一人ひとりが地

域社会を知り、活動してい

ています。

この他にも、フードバンクへ

の食料提供や生活困窮家庭の子

供たちの学習支援、ホームレス

支援といつたさまざまな活動

を、社員を通じてサポートして

います。

社員それぞれが起案し、本社

の食料提供や生活困窮家庭の子

供たちの学習支援、ホームレス

支援といつたさまざまな活動

を、社員を通じてサポートして

います。

この他にも、フードバンクへ

の食料提供や生活困窮家庭の子

供たちの学習支援、ホームレス